

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

近くの友達をよく知ることから・・・



今日はいつもと違ったところから参加しています。どこか分かりますか。

ヒント1 日本ではありませんが、日本とはつながりの深い国です。

ヒント2 この国から伝わってきた野菜はたくさんあり、料理店も多くあります。

ヒント3 皆さんが普段使っている文字や服などの多くはこの国から来たものです。

正解は、中国です。正式な名称は中華人民共和国といいます。

中国は、日本よりも古くから栄えていました。そこで、日本は中国からいろいろなことを教わったり、いろいろなものが伝わってきたりしています。例えば、皆さんが毎日のように食べているご飯。これはお米を炊いたものですが、その米作りの方法は今から2400年も前の弥生時代に伝わってきたものです。それ以外にも、白菜や大根、にんじん、ごぼう、なす、きゅうり、ほうれん草などの野菜や、みかんや桃などの果物も中国から伝わってきたものです。また、中国をルーツとした料理として、炒飯や餃子、麻婆豆腐なども、日本人に馴染みの深いものとなっています。今は、日本から中国に機械の部品や自動車などを売っている代わりに、日本は中国からスマホやテレビなどの電気機器、服やカバンなどの日用品を買っています。そうやって物を売り買いすることで、お互いの国が豊かになるような関係となっています。

でも、昔は日本と中国で戦争をしていたこともありました。戦争になると多くの人々が亡くなります。そして、食べたいものが食べられなくなったり、ゆっくり眠ることすらできなくなったりします。そうならないようにすることが大切ですが、どうすれば良いのでしょうか。

皆さんは周りの友達とケンカになることもありますよね。自分のやりたいことばかりをやりようしたり、自分の考え方を押し通そうとしたりすると、相手が受け入れてくれたり、我慢をしてくれたりすることもありかもしれませんが、相手によっては同じように自分の考え方を押し通そうとしたりすることがあります。そして、お互いが譲れずにいると、ついにはケンカになってしまうこともあります。そうならないようにするためには、相手がどんな思いや考え方なのかをよく知ることが大切です。よく知るとは、よく見て、よく話を聞くことです。

今回、中国に来ているのは、中国の小学校や市役所を見たり、中国の子供たちや先生たちと話をしたりすることで、中国のことをもっとよく知りたいと思ったからです。そして、今以上に、日本と中国が仲良くなってほしいと願っているからです。今週、ずっと校長室にはいませんが、みんなも近くの友達と仲良く過ごしてもらいたいです。それが、行く行くは日本とお隣の中国が仲良くなることにつながるからです。では、また来週、会いましょう。